

ダニアレルギー性疾患に対する 純化アレルゲン免疫療法皮下注射製剤

中込 一之*1・永田 真*2*3 Kazuyuki Nakagome Makoto Nagata

埼玉医科大学呼吸器内科講師*1・教授*2・アレルギーセンター・センター長*3

はじめに

吸入ステロイド薬(inhaled corticosteroid ; ICS)を中心とした薬物療法の進歩により、気管支喘息(以下、喘息)はコントロールが良好な疾患となった。しかし近年では、ICSは喘息の自然経過を修飾しないことがわかり、対症療法にすぎないと位置づけされつつある。一方、アレルゲン免疫療法はアレルギー疾患における免疫学的寛解を期待できる現存する唯一の治療法である。免疫療法は、病態の根本に存在するアレルゲン特異的Th2型免疫応答の制御を治療標的とし、疾患の自然経過を修飾する可能性を有する点で、薬物療法とは異なった意義が期待できると考えられる。

免疫療法のアレルギー治療における期待と評価は国際的には高まりつつあるが、わが国では標準化ダニアレルゲンが薬価収載されていなかったこと、本療法を施行できる施設あるいはアレルギー専門医が少ないことなどから、今までは十分には施行されてこなかった。少数の施行施設では、ダニの代わりに、実際に家から採取した室内塵(house dust ; HD)を使った皮下免疫療法(subcutaneous immunotherapy ; SCIT)が行われてきた。HDの主成分はダニだが、製品の質に問題があり、効果や安全性を高める必要があった(アレルゲンの均質化・標準化)。これらを背景にして、今回標準化された純化アレルゲン

免疫療法皮下注射製剤が、鳥居薬品から販売された。さらに、適正使用を目的として、日本アレルギー学会により『ダニアレルギーにおけるアレルゲン免疫療法の手引き』が作成された¹⁾。本稿では、この手引きに基づき、純化アレルゲン免疫療法皮下注射(SCIT)製剤について、概説したい。

I. ダニアレルギーにおけるアレルゲン免疫療法のポジショニング

ダニアレルゲン免疫療法は、「通年性の生活環境アレルゲンである家塵ダニを病因とするアレルギー疾患に対して、自然経過を修飾する可能性のある唯一の治療法」と位置づけられている¹⁾。アレルギー性鼻炎において、アレルゲン免疫療法はガイドラインにおける標準的な治療であり²⁾、臨床症状を改善させ、薬物減量効果を有することが、メタ解析で示されている³⁾。

アトピー型喘息においても、臨床症状と気道過敏性を改善させ、薬物減量効果を有することがメタ解析で示されている⁴⁾。また標準治療を施行したうえで、追加効果があることが示されている。Maestrelliらは軽症あるいは中等症のダニ喘息患者を対象にガイドライン治療を行ったうえで、ダニ免疫療法の追加効果を検証した⁵⁾。免疫療法群で、ICS使用量・喘息スコア・気道過敏性の改善はみら